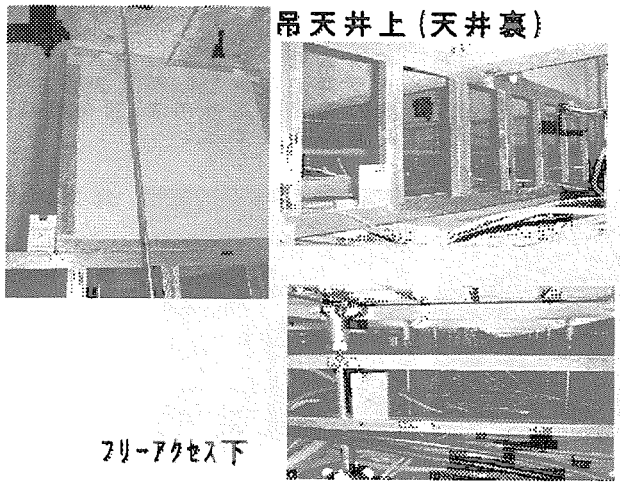
エ　不正侵入防御

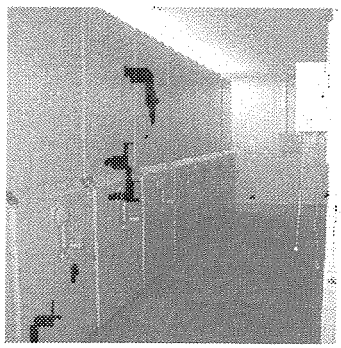
認証局内部の各部屋には天井裏及び床下からの不正侵入を防止するための設備を設置している



吊天井上(天井裏)
およびﾌﾘｰｱｸｾｽ下
からの侵入を防御
するための設備
を装備

オ　保管庫／耐火金庫

重要な記録を保存するための保管庫が設置されている部屋は、一般マシン室より一段高いセキュリティレベルを設定している。保管庫内部には、ログ他を保存するための認証局専用鍵付き保管庫を設置している。専用保管庫は耐タンパーリングを装着し、特殊鍵を使用している。認証局の秘密鍵等のデータを保管するために使用される耐火金庫は、二重構造になっており、耐火・防水・防湿機能を有している。この耐火金庫に係る物理鍵とダイヤル鍵の管理者を分離することによって、単独で耐火金庫を開けられないようにしている。

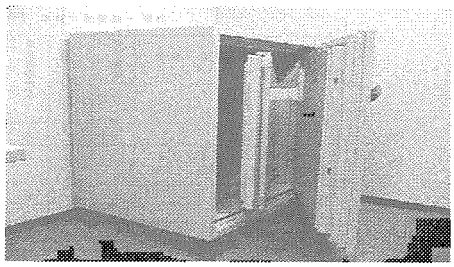


保管庫内部
では、さらに
認証局専用
鍵付き保管庫
を設置し、
発行済証明書
やログ他を保存
(保管庫全体が
耐火仕様)

専用保管庫は
耐ﾀﾝﾊﾟｰﾘﾝｸﾞ装
着、特殊錠使用

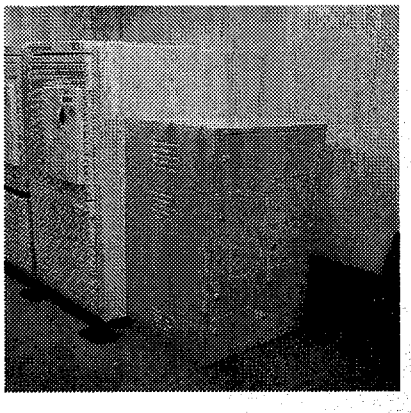
一般ﾏｼﾝ室より一段高いｾｷｭﾘﾃｨﾚﾍﾞﾙを
設定(ﾗｲﾌﾗﾘｱﾝのみが入室可)

二重構造で、耐火・防水・
防湿機能を持つデータ保管
専用金庫を使用(2時間耐火)
物理鍵とダイヤル鍵の管理者を分離

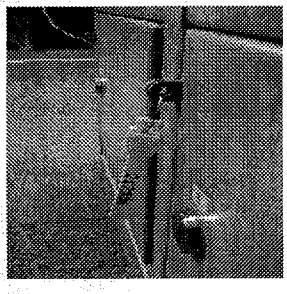


カ　暗号装置・ビデオ録画装置収納庫

暗号装置及びビデオ録画装置は鍵付き保管庫に収納し、不正操作を防御するため、当該鍵は運用管理者以外の者（設備管理者）が管理している。また、鍵は特殊なものを使用しているとともに、不正なこじ開けには検知可能なものとなっている。



暗号装置、ビデオ録画装置を鍵付き保管庫に収納し、不正操作を防御
鍵は運用者以外の者（設備管理者）が管理し開錠する。



対タンパーリング

不正なこじ開けが検知可能

錠は特殊錠を使用

（3）人事面のセキュリティ管理

日本認証サービス㈱は、内部者による不正を防止し認証局のセキュリティを確保するために次のような事項を実践している。

・装置・機器操作権限、入室権限等従業員の役割と権限を文書化し、保管する。
・従業員に対し、定期的に無犯罪歴であることの自己申告を要求する。
・従業員に対し、セキュリティ教育を実施、内部規則を遵守するとの宣誓を要求する。
・鍵構成要素保管責任の遂行に同意し署名を要求する。

装置・機器操作権限（例）

要員別＼装置・設備		監視端末	システム運用端末	業務運用端末	CPサーバ	ファイアウォールなどネットワーク機器	暗号化装置	CP専用室セキュリティ設備	施設付帯関係
CP要員	運営管理者	×	×	×	×	×	◎	○	△
	システム運用担当者	○	○	○	○	○	△	△	△
	業務運用者	×	×	○	△	△	△	△	△
保守要員		△	△	△	△	△	△	△	△
JCS		×	×	×	×	×	◎	×	×
お客さま		×	×	×	×	×	◎	×	×

入室権限（例）

要員＼室		ビル入館	CP専用室	システム監視室	媒体保管室	機密情報金庫
CP要員	運営管理者	○	◎	○	○	◎
	システム運用者	○	◎	△	△	×
	業務運用者	○	△	△	△	×
保守要員		○	△	△	×	×
JCS		○	△	△	×	◎
お客さま		○	△	△	×	◎

（4）秘密鍵の保管例

認証局が証明書の作成に用いる秘密鍵については、当該鍵を盗取して認証局のデジタル署名を偽造した上での証明書の偽造を防止するために、厳重に保管する必要がある。日本認証サービス㈱では、単独で秘密鍵の取扱いができないようにするため、秘密鍵を暗号化し、いくつかに分割し、それぞれの鍵構成要素保管者の責任のもと、耐火金庫に保管している。その際、分割した秘密鍵をそれぞれ耐タンパー性の容物に入れ、鍵付きの小型コンテナに入れた上、耐火金庫に保管するなどいくつかのパターンがある。